

事業計画書（除外）

（記載例）

1. 事業の必要性（申出地において事業を行わなければならない強い事情）

事業内容ごとに、以下の点について整理し、記載すること。

- 必要性・・・事業を行わなければならない理由
- 緊急性・・・除外後直ちに事業を行わなければならない理由
- 妥当性・・・事業目的から見て申出面積が必要な理由

※事業計画書が具体的でなかったり、必要以上の面積規模であった場合は、除外できません。

2. 事業計画の概要（事業内容について具体的に記載してください）

木造平屋建て 1 棟

建築面積：○○m²

事業面積：○○m²

- ①取水方法・・・市営水道
- ②雨水処理方法・・・雨水敷地内浸透処理
- ③汚水等処理方法・・・合併処理浄化槽
- ④擁壁・フェンス等・・・周辺農用地への土砂流出を防ぐため擁壁を設置
- ⑤日照・通風の確保・・・事業による周辺農用地への日照・通風の影響なし

※その他事業内容の詳細を記載すること。

3. 事業スケジュール（除外以後の事業スケジュールを記載してください）

○年○月 土地分筆登記

○年○月 建築工事

○年○月 農地法第○条申請

○年○月 運用開始

○年○月 建築確認申請

○年○月 都市計画法第○条申請

○年○月 土地造成工事

4. 資金計画（事業費の詳細、借入先等について具体的に記載してください）

資金

○○銀行借入 1,000,000円

自己資金 1,000,000円

計

2,000,000円

支出

土地造成工事 500,000円

建築費 1,000,000円

諸経費 500,000円

計

2,000,000円

5. 他法令の状況

農地法・・・那須塩原市農業委員会と○年○月○日事前相談済み。
農地転用許可の見込みあり。

都市計画法・・・那須塩原市都市計画課と○年○月○日事前相談済み。
開発許可の見込みあり。